

令和7年度 大阪市障がい者ピアサポート研修（基礎研修） プログラム（予定）

1日目 9月1日（月）			
科目名	分	内容	講義・演習のねらい
開講オリエンテーション	15	○研修の流れ、目的の説明	○研修の流れと目的を理解する。 ○講義と演習の繰り返しで行うため、グループワークに参加する際のルールを理解する。
1. ピアサポートの理解	30	○障がい領域ごとの歴史や背景 ○障がい領域ごとの視点	○ピアサポートは何かという基本について理解する。 ○ピアサポート活動は障がい者の人権と深く関連しており、障がい当事者の強みを活かし、その人らしい人生を生きるという当たり前の権利を実現しようとすることを支援する点に大きな特徴があることを学ぶ。
2. 演習	60	○講義「ピアサポートの理解」の振り返り、気づきの共有	
昼休憩			
3-1. ピアサポートの実際・事例	95	○障がい領域ごとのピアサポートの実際	「ピアサポートの理解」の中でも障がいごとのサポートについて触れているが、ここでは、障がい当事者の経験に基づく語りを通して、より具体的にピアサポートを理解する。
4. 演習	40	○講義「ピアサポートの実際・事例」の振り返り、気づきの共有	

2日目 9月2日（火）			
科目名	分	内容	講義・演習のねらい
オリエンテーション	5	○2日目の説明	
3-2. ピアサポートの実際と事例	20	○障がい領域ごとのピアサポートの実際（高次脳機能障がい領域）	
5. コミュニケーションの基本	40	○ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーション技法や経験の共有	○人を対象としたサポートでのコミュニケーションの大切さを学ぶ。 ○技法を使用することで気づきを共有し、自らのコミュニケーションへの意識を働かせる。
6. 演習	60	○講義「コミュニケーションの基本」の振り返り、気づきの共有	○人を対象としたサポートでのコミュニケーションの大切さを学ぶ。 ○技法を使用することで気づきを共有し、自らのコミュニケーションへの意識を働かせる。
昼休憩（60分）			
7. 障がい福祉サービスの基礎と実際	40	○障がい福祉施策の歴史 ○障がい福祉施策の仕組み	○障がい福祉施策の歴史や障がい福祉施策の仕組みを知る。
8. 演習	20	○講義「障がい福祉サービスの基礎と実際」の振り返り、気づきの共有	
9. ピアサポートの専門性	30	○ピアサポートの具体的な専門性 ○倫理と守秘義務	○ピアサポートの専門性と、それを活かすことにより、より良いサービスが提供できることを理解する。 ○その専門性を担保するための倫理と守秘義務について学ぶ。
10. 演習	50	○講義「ピアサポートの専門性」の振り返り、気づきの共有	

※演習のグループは、ピアサポーターと管理者等の混合のグループです。なお、同じ事業所の方はグループを分かれて受講していただきます。

※各演習でホワイトボードを利用し、グループ内で自己開示や意見交換を行います。また、全体発表もあります。

※講義科目の間に、適宜小休憩を設けます。

※当日のプログラム進行状況等によっては、終了時間が変更になる場合があります。